一 般 質 問

令和2年第1回九戸村議会定例会

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	1 地方創生事業について	(1) ふるさと納税制度に対する8年間 の取り組みは、どのように進められ てきたか。	村長
		(2) 総務省の推進事業である地域おこし協力隊の活用がないことの理由と今後の考え方を伺う。	村長
		(3) 2020 東京オリンピックの聖火リレーは本村を通らないことになったが、村民の活力に繋がる聖火リレーコース参加の要望は積極的に実践したのかを伺う。	村長
		(4) オリンピックの参加国のホストタウンとして県内7つ、事前キャンプ等復興ありがとうホストタウンとして重複1を含む11の市町村が登録しているが、本村の取り組みは存在したのかどうかを伺う。	村長
	2 人口問題対策について	(1) 結婚活動へ支援等、どのような対策を実践し、現在に至っているのか、また今後の重点課題をどう捉えているのかを伺う。	村長
		(2) 移住、定住の促進にむけたこれまでの効果的な取り組みと、今後の方向性を伺う。	村 長
		(3) 高校生留学事業などの全国成功 事例を参考に挑戦した事業実績や 独自の事業などの考えを伺う。	村長
		(4) 交流人口拡大に向けた、特色ある取り組みの実践が必要であると考えるがどうか。	村長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3 産業振興について	(1) 産業振興の目玉事業「農業者育成のナインズファーム」の直近の状況はどうなっているのかを伺う。	村 長
		(2) 地元事業者の活力活性化に向けた支援実績を伺う。	村 長
	4 教育・子育て政策について	(1) 小学校統合、小中一貫校の建設計画を進めようとしているわけだが、その進め方に問題が生じており、村が分断している。教育問題におけるこの混乱の責任をどのように捉えているのか。 村民との対話の不足が根本に存在していると考えるが、「夢と希望」が「村の借金」とならぬよう明確な説明責任が求められるがいかがか。	村長
		(2) 大事な学校統合の問題を抱えていながら、7月から教育長が不在の状況は、前代未聞の自治体と言われても仕方がない状況にある。村長として、この異常事態を村民に説明するのか伺う。	村 長
	5 村役場の活力について	(1) 役場の活力活性化は首長のリーダーシップにかかっているといわれます。村長はこの8年間で村役場の活力をどのように高め、生き生きとした役場職員の育成に努めてきたのかその成果を伺う。	村 長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 保大木 信 子	1 小中一貫校について	(1) 小中一貫校施設一体型校舎建設 費の補助金の金額、起債の金額と 種類と交付金バックの見込額、返済 計画について伺う。	村 長
		(2) 学校をつくり上げることは、村全体の問題であり、保護者の意向を考慮しながら財政的観点からもしっかりした説明をしながら進めるべきものなのに、なぜこれほどまでに建設を急ぐ理由を伺う。	村長
		(3) 「施設一体型小中一貫校白紙撤回を求める請願」の採択を経て、村長は新聞にコメントをよせているが、今もその考えは変わっていないかを伺う。	村長
	2 職員体制について	(1) 退職者が多い中、現体制の職員 への負担増などを考えて体制を整 えるには、即戦力となる方の確保が 必要だと考えるが、その点をどのよ うに考えているのかを伺う。	村 長
	3 福祉の充実について	(1) ご近所すけっ隊など今、村で進めている取り組みをどのように構築していくのかを伺う。	村長

質 問 者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 久保 えみ子	1 村民所得の現状認識 と所得の向上対策につ いて	(1) 村民の所得が県内で最低水準になっている。こうした認識を持っているのか伺う。	村 長
		(2) また、なぜそうなっているのか現状の分析について伺う。	村 長
		(3) 所得の向上のためには、村の施策が決定的に重要だと考えるが、その具体策を伺う。	村 長
	2 村の財政の見通しに ついて	(1) 村のこれからの財政運営の見通しについて伺う。	村 長
		(2) 住民の福祉の増進を使命とするのが地方自治体です。市町村にとって福祉は重要な仕事です。村民の命と健康を守ることが一番重要という認識にたって財政運営をするべきと思うが、村長の考えを伺う。	村 長
	3 社会保険料の負担軽減に取り組む考えについて	(1) 政府は、これからの数年間で国保税の引き上げ、介護保険料の引き上げ、介護保険料の引き上げなど社会保険料の負担増をすすめようとしている。村民への負担増は行わず、村として負担軽減に取り組む考えがあるのか伺う。	村 長
		(2) 国保税の引き下げを行うべきと考えるが、実施する考えがあるのか伺う。	村 長
	4 小中一貫校の建設を 進める村長の考え方に ついて	(1) 村の小学校も中学校もまだまだ使 える学校だと考えないのか、村長の 見解を伺う。	村 長
		(2) 小学校を今、一気に1校に統合すれば「先生が3分の1に減る」と、教育委員会がはっきり答弁している。先生がいてこそ、子ども一人ひとりに行き届いた教育の充実ができるものだと考えるが、なぜ、そのように考えないのか村長の見解を伺う。	村 長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		(3) 小学校が地域になくなれば、その地域も衰退する。なぜ、住民の合意がないものを進めるのか見解を伺う。	村 長
		(4) ますます厳しくなる村財政のことを考えても、村民全体の暮らしへの支援対策の強化を考えても、子育て支援の予算を強化していくうえでも、今ある学校はまだまだ使えるわけであって、学校として有効に活用していくべきものではないか、見解を伺う。	村長
		(5) 学校が統合すれば、先生も減らされて、学校があるから交付される地方交付税も減らされる。小学校5校が、1校になった場合の地方交付税の試算を伺う。	村 長
	5 村の農業を守る対策 について	(1) 今、国際社会全体が、これからの持続可能な社会を考えるうえで、家族農業を守る方向に転換しています。 そして、その行動が呼びかけられました。村長はこのことをどのように考えているのか認識を伺う。	村 長
	6 黒山の昔穴遺跡について	(1) 国指定の遺跡になることをめざして 調査に努力していると思います。現状 と見通しについて伺う。	村長